

令和6年 1月22日

宇部市長

篠崎 圭二 様

日本労働組合総連合会山口県連合会
西部地域協議会 宇部地区会議

代表 矢幡 和哉



2024年度宇部市政策・予算に対する要請書

貴職におかれましては、市民生活の向上と市の振興・発展に向け、ご尽力されていますことに対し、衷心より敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の位置づけが第5類に移行したことに伴い、これまでの「全数把握」から「定点把握」に変更となり、感染者数が激減したかのような感覚となっておりますが、現状は未だに猛威を振るっており、完全な終息には至っていません。宇部市においてもインフルエンザの同時流行に伴う小・中学校の学級閉鎖や学校閉鎖等により、正常な社会・経済活動が妨げられています。

日本銀行下関支店が発表した1月の山口県金融経済情勢によりますと、「県内景気は、緩やかに回復している。」とし、「先行きについては、海外の経済・物価情勢と国際金融市場の動向、資源・原材料価格の動向や供給制約等が、当地の金融経済に与える影響について注視していく必要がある。」とあり、依然先行きについての不透明感が残っている状態です。また、厚生労働省山口労働局が発表した山口県内の雇用情勢については、11月の有効求人倍率が1.51倍で、県内の雇用情勢は、「持ち直しの動きが続く中、求人が求職を上回って推移している。」となっています。こうした中、宇部市内で働く者、生活する者の、すべての命と雇用と生活を守るための迅速かつ継続的な対応が求められます。また、感染症対策のみならず、新年早々に能登半島地震が発生したように自然災害はいつどこで発生するか分からない状況であり、こうした自然災害への対応についても、長期的かつきめ細やかな支援が必要とされています。

社会に蔓延する様々な不安を解消し、経済の自律的かつ持続的な成長を取り戻すためには、今まさに連合がめざす「働くことを軸とする安心社会 ーまもる・つなぐ・創り出すー」地域とともに安心社会を実現することこそが不可欠と考えています。

この度、連合山口西部地域協議会宇部地区会議として、加盟組合の意見を集約し、働く者・生活者の立場から、宇部市の経済・財政運営および2024年度予算編成において重点を置いて頂きたい施策について、別紙のとおり要請いたしますので、具現化に向けご検討いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、文書で回答いただきますよう、併せてお願い致します。

1. 新型コロナウイルス感染症対策

季節性インフルエンザと同様の第5類に移行されたものの、依然として様々な状況に対応出来る準備が必要であるとする。そこで、以下の内容について準備状況の確認と不足している箇所への対策を要請する。

- ① 正しい情報の発信方法
- ② 感染症に対応出来る病院・施設等の整備、医師・医療従事者の確保と支援
- ③ 感染を拡大させないための水際対策
- ④ 早期のワクチン確保
- ⑤ 影響を受けた企業等への各種支援策

2. 子育て支援の拡充

- (1) 行政として、保育園・学童保育の定員増加に尽力いただいているところであるが、保育士が足りないという理由により、希望する保育園に預けることができない現状がなかなか改善されない。保育士が働きやすい環境を再検討し、保育士を必要数確保することを要請する。
- (2) 活力あるまちにする為にも子どもが増える事が重要なテーマである。宇部市で安心して子育てを進めてもらうためにも、高等学校卒業までの教育に関わる費用を実質無償化出来る様に検討を進める事を要請する。
- (3) 2023年には大型遊具施設である山口宇部ふれあい公園が完成し、宇部市としても積極的に取り組んでいる内容ではあるが、子どもたちの心身の健やかな成長の支援、子育て環境の充実の観点から、全天候型子ども遊戯施設の建設、整備についての取り組みを要請する。

3. 安心・安全のまちづくり対策

- (1) 生活基盤となる社会インフラの耐震化及び地域防災力の強化について、進捗状況をお尋ねしたい。
- (2) 市内の河川においても、多くの場所で土砂の堆積や草木の繁茂、ひどいところでは立木も発生し、そこに流木やゴミが詰まることで、冠水が発生する恐れもあることから、市民の暮らしと安心・安全確保のため、河川の調査及び必要な個所の浚渫などの対策を要請する。
- (3) 市内道路における通学路の横断歩道白線や中央線、外側線に消えているものが見受けられるため、対応・改善を図られたい。加えて、通行に影響のある樹木や雑草の伐採や撤去も実施されたい。

4. 中小企業の支援策の充実

- (1) 宇部市中小企業者等エネルギー価格高騰緊急対策補助金については評価しているものの、中小企業の現下の厳しい状況乗り越えるためには、まだ十分な状態であるとは言えない。よって、これまでの支援策の継続・充実に加え、更なる支援策の検討を要請する。
- (2) 宇部市人材確保支援事業費補助金についても十分評価しているが、人材・人手不測の解消までには至っていない。各企業の実情に合わせた環境整備を積極的に支援頂けることを要請する。

5. 地域公共交通の活性化

- (1) バスやタクシーの運転者不足の現状に鑑み、その解消に向けた取り組みについて要請する。
- (2) キャッシュレスで交通機関の利用が可能となる交通系 I C カードの導入は、地域住民のみならず観光客の利便性向上につながるとの認識の下、今後は市内の公共交通機関にも利用できるよう I C カードの導入を要請する。

6. 地域の活性化

- (1) 宇部市内には収容人数の多い屋内イベント会場が無く、コンサートなどの大規模イベントは市外で開催されている状況であるため、山口宇部空港ふれあい公園に隣接した大規模アリーナ（収容人数 10,000 人以上）の建設を要望する。
- (2) 2023 年に開催した宇部アーバンスポーツフェス 2023 は若い世代を中心に大変盛況であったことから、今後もスポーツイベントを開催、誘致することで市外から人を呼び込み、宇部市を盛り上げて頂きたい。

7. 投票率の向上に向けた環境の整備

宇部市においては、他の市町村と同様に各級選挙で投票率の低下に歯止めがかからず、この問題には早急に取り組む必要があると考える。宇部市では、子ども選挙を実施するなど先進的な取り組みを行っているが、若年層の選挙ばなれ、投票率の低さが叫ばれる状況を踏まえ、小中学校や高等学校における主催者教育の実施、大学や専門学校における啓発等を充実させるよう要請する。

8. カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

宇部市内の企業と共に宇部コンビナート省エネ・温室効果ガス削減研究協議会を立ち上げ、検討を進めて頂いているところであるが、2050 年のカーボンニュートラルへの目標達成には一企業のみではなかなか前に進めない。国や県と一体となり、市内企業への支援策はもちろんの事、今まで以上に市民への理解を深める活動が必要になると感じている。2050 年の目標達成に向けた現状の取り組み状況と、宇部市としての今後のロードマップについてお聞かせ願いたい。

9. その他

- (1) 山口県の港湾施設である芝中西埠頭について現在高圧ガスや危険物を保管する施設が無いため、埠頭を利用した製品出荷を行えない状況である。コンビナート地域として企業からの危険物や高圧ガスの輸出、輸入などの需要があると考え、また当該埠頭からの出荷が出来れば産業の活性化、企業としても陸送の距離が短くなることによりCO₂排出量が削減できるなど多くのメリットが出来ると考える。したがって、芝中西埠頭に危険物や高圧ガスの保管施設を県に設置してもらい、宇部・小野田地区のコンビナートエリアの活性化に繋げてほしい。
- (2) 段階的に引き上げられている炭素税の負担もあり、二酸化炭素排出抑制を目的として早急に水素ボイラーや水素燃焼施設の導入を検討したいが、宇部地区には水素供給基地がない。東見初等の宇部港湾周辺に産業用水素供給基地の設置およびパイプラインの敷設もしくは支援を希望する。
- (3) 但し、上記要望は宇部地区会議の加盟組合から提出されたものであり、まずは近隣企業へ利用ニーズの有無について確認をしていただきたい。

以上